

事業所における自己評価結果（公表）			
公表：2023年3月8日		事業所名：	障害児保育園ヘレン中村橋
	はい	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点
環境・体制整備	1. 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○	<p>十分なスペースはある。感染対策のため、利用者同士の距離を保てる様レイアウトしている。</p> <p>現時点では良いが、定員園児全員登園したら、スペースは充分ではないと思われる。</p>
	2. 職員の配置数は適切であるか	○	<p>児発管が1名、園長代行での運営が続いており、人員補充が必要である。副園長配置により本部との連携は以前よりスムーズになったと思われる。リハ職の介入がもう少し多い方が良い。</p> <p>園児が全員登園しスタッフに欠員があるとマンツーマン保育は無理なので複数人対1で対応。全園児をずっと注意して見ていることは不可能。平時はその場合でも安全に保育できるが、子どものことなのでその保証はなく、目が届かなかったことによる事故が起こる可能性はある。一人の園児に何かトラブルがあった場合も、その他の園児から目が離れることにより二次的な事故が生じる可能性もある。人手の余裕はほしいところ</p> <p>スポット的に人手が必要な時間帯（送迎時間や食事介助時）があるが常に人が足りていないわけではない。子どもが休むと大人があまり、その時にできるような事務仕事や制作物など用意があればよいのだがいつそのような状況になるのか予測がつかないので難しい。</p> <p>現在は在園児が少ないため、不足している印象はないが、園児が増えた場合は不足すると考えられる。</p> <p>活動はマンツーマンでついてほしいところだか2人を1人で見たりしている。</p>
	3. 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	○	<p>子どもに対しては視覚支援が有効だと思いつつも、他のスタッフに有効な使用方法が示せずにいる。スタッフ同士の連絡共有は朝の連絡会の定例化やログでの可視化で情報の共有はできている。が、情報量が多すぎて皆が同じような理解になることは難しい。</p> <p>トイレ誘導に絵カードを仕様している。本人は就学未満児なので、関わるスタッフのアプローチが情報源となるが、丁寧に行われている。しかしまだまだ工夫の余地がある。</p>
	4. 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	○	<p>園内の清掃、衛生管理を常に見直し表記している。</p> <p>感染対策の研修を受けたスタッフが園での対応の見直しを行ってくれている</p> <p>感染症対策や掃除のシステム化が出来ている</p>
	5. 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	○	<p>朝MTG毎週各職種MTGで常に行なっている</p> <p>ふりかえりが出来ていないこともある。</p> <p>保育士部門のOJTはマニュアル化され、とても良い。</p>
			<p>課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標</p> <p>必要に応じてレイアウト変更等を実施して参ります</p> <p>新しい体制に向けて適正な人員配置を設置します。またスタッフの休暇等へ柔軟に対応出来るよう、複数園勤務の看護師の運用や他園スタッフのヘルプの調整等を実施します。</p> <p>個々の児の特性を見ながら視覚支援を進められるよう話し合いを進め、安全に実現できるよう施設環境を整えて参ります</p> <p>朝の全体MTGや各部門のMTGは引き続き実施します。また情報の伝達はCWや書類の回覧や連絡ノートも活用し、常勤や非常勤スタッフへもれなく伝わるようにします。また園内のコミュニケーションを円滑にするべく研修やWSも実施して参ります</p>

業務改善	6. 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○		保護者の意向について知り得る情報は常に共有する様にしている。	
	7. 事業所向け自己評価表及び保証者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			
	8. 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	○		外部評価を行っているのか存じ上げないためいえとさせていただきます。 第三者による外部評価をする機会をもっているのかわからない。	第三者による外部評価は行っておりません。保護者および職員向けの評価表をもとに事業所ごとに業務改善を行っております
	9. 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○		研修の情報は教えてもらっていますが、研修を受けるモチベーションを高めるのが難しい。どうしても日に流されてしまう。	外部研修の情報は都度お伝えできる体制を整えます。社内研修に関しても、研修部門との連携を進めて参ります
	10. アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	○		より具体的な計画がいいと思うが、児発管1人で担うのは負担が多すぎる。また、個人の考えのみで作成されることもあるため、留意が必要。	各クラスにて実態調査を実施し、その情報を元に児発管が個別支援計画を作成するという流れをとり、客観性のある計画を作ることが出来るような仕組みを徹底します
	11. 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			標準化されたツール完成後には水平展開し使用して参ります
適切な支援の提供	12. 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	○			
	13. 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	○			
	14. 活動プログラムの立案をチームで行っているか	○		話し合いながら立案できている。目的等も他職種に伝わるようにするとよいと感じる。	
	15. 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○		創意工夫が素晴らしい。子どもにあった方法かつ楽しめるものを考えている。	
	16. 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ児童発達支援計画を作成しているか	○			
	17. 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○		工夫:チャットワークによる活動の目的や目標ももっと細かく保育士と擦り合わせる事ができたらより良いと感じる。	
	18. 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○		打ち合わせという形ではないが気づいた点は記録し共有している 定期的に振り返る機会もはもてていない	支援終了後の全体打ち合わせはシフト上不可能なため日案での日々の活動振り返りはクラスごとに実施していますが、週一回開催の保育MTG時にも日々の支援についての振り返りを実施します
	19. 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			
	20. 定期的なモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	○			
	関係	21. 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○		サービス担当者会議というものに参加したことがない
22. 母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか		○			
23. (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか		○		学校や子ども発達支援センターなど必要時に連絡をとっている	

「機 関 や 保 護 者 と の 連 携 関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	24. (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	○		受診同行を実施し連携をとっている 診察同行などで連携をとる努力はしている	
	25. 移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○		移行した保育園などへのフォローを行っている	
	26. 移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○		学校への引継ぎを行っている	
	27. 他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○		訪問リハビリテーションとの連携について課題がありそうだと感じている	必要性に応じ、各関係機関と連携をとって参ります
	28. 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		○	散歩に出かけた際に、近隣の保育園児と交流している 交流を希望するが、コロナ禍のため実施できずにいる	引き続き、コロナ感染状況を見ながら、近隣の保育園た地域施設(公園等)での交流を進めて参ります
	29. (自立支援) 協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか		○		
	30. 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			
保 護 者 へ の 説 明 責 任 等	31. 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	○			現在家族支援プログラムに沿った支援は実施していませんが、必要に応じて導入を検討してまいります。また、スタッフがペアレント・トレーニングの研修に参加することで保護者の方にお役に立てるような機会を検討していきます。
	32. 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			
	33. 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	○			
	34. 定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○		個別面談実施	
	35. 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○		親子交流会を実施した 年2回の保護者交流会を実施し保護者からは好評でありもっと実施をしてほしい要望がでていますが、年間行事など多くを取り入れることが難しい	
	36. 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			
	37. 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○		園だよりの発行は滞っている。明確に担当が決まっていないからかも	
	38. 個人情報の取扱いに十分注意しているか	○			
	39. 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			
	40. 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○			
	41. 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○		マニュアル化、マニュアルの見直し、訓練は定期的に行われている。見直し時の課題も直ぐに検討し、新ため周知している。	
	42. 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○		行われているがまだまだ熟練する余地がある。	
	43. 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	○		一覧表があり、常に確認している。	

				個別面談実施	
				親子交流会を実施した	
				年2回の保護者交流会を実施し保護者からは好評でありもっと実施をしてほしい要望がでていますが、年間行事など多くを取り入れることが難しい	
				園だよりの発行は滞っている。明確に担当が決まっていないからかも	
				マニュアル化、マニュアルの見直し、訓練は定期的に行われている。見直し時の課題も直ぐに検討し、新ため周知している。	
				行われているがまだまだ熟練する余地がある。	
				一覧表があり、常に確認している。	
				除去、掃除が徹底されている。	